

# 立命館経済學

第 34 卷 第 2 号

1985 年 6 月

---

## 内 容

### 論 説

- ラスパイレス式物価指数の寄与度・寄与率……………関 弥三郎 1
- 経済地理学方法論の根本問題……………杉 野 罔 明 24
- 不均衡調整メカニズムと下方硬直賃金……………大 西 広 67

### 資 料

- 日本資本主義確立期の資本家名簿(6)……………後 藤 靖 79
- 共同研究室…………… 118

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立 命 館 経 済 学 第33巻・第6号

山田邦臣先生をお送りする言葉	清水 貞 俊
寄与度・寄与率の理論と応用	関 彌 三 郎
近代経済学における日常性と科学性	鈴 木 登
——その普遍性・客観性・実証性をめぐっての素描——	
Stagnation 仮説の検討	甲 賀 光 秀
寡占部門の投資行動規制による景気安定化について	北 野 正 一
ケインズ経済学の理論的發展	松 川 周 二
——その若干の予備的考察——	
構造変化と政策効果	山 田 彌
——二つの計量モデルによるシミュレーション分析——	
途上国経済援助による世界経済活性化の 可能性について	本 田 豊
日本における政府短期証券市場の現状と展望	河 野 快 晴

発行所 立命館大学経済学会

立 命 館 経 済 学 第34巻・第1号

論 説

現代産業合理化論序説(1)	三 好 正 巳
I B M社の組織変革(9・完)	坂 本 和 一

研 究

商業資本の下における「生きている矛盾」の

展開形態について	西 原 誠 司
----------	---------

紹 介

服部文男著『マルクス主義の形成』について	岡 崎 栄 松
----------------------	---------

翻 訳

M. ブラウンリッジ, M. A. グレイグ著

『観光業と地域開発』	森 田 優 己
------------	---------

発行所 立命館大学経済学会